

図書館概要 2012

お茶の水女子大学附属図書館は、時間と空間を超える
知的交流の場であり、次世代の知を創造し発信する
学術情報基盤として機能する。

目次

1. 活動編

特徴的な設備と備品	2
ラーニング・commons、キャリアカフェ、ラウンジ、ノートパソコン自動貸出ロッカー	
学習・研究支援サービス	4
レファレンスサービス、リテラシー講習会、LiSA (Library Student Assistant) プログラム、相互利用協定と地域公開、教育・研究成果コレクション「TeaPot」(機関リポジトリ)	

2. 統計編

蔵書統計	6
蔵書数、データベース登録率、電子ジャーナル、視聴覚資料	
受入統計	7
年間図書受入数、年間雑誌受入数	
サービス統計	8
年間開館日数、利用対象者数、年間入館者数、年間貸出冊数、文献複写件数・枚数、図書館間相互協力 (ILL サービス) 件数	
施設統計	9
用途別面積、閲覧座席数、書架収容可能冊数、館内利用者用パソコン台数	

3. 資料編

組織と職員	11
サービス	12
館内図	13
記念文庫、大型コレクション	14
学内図書室、資料室一覧	15
沿革	16
歴代附属図書館長	18
規則	19



1. 活動編

特徴的な設備と備品

ラーニング・commons

平成19年4月、全国に先駆けて図書館1階南側スペース(約150㎡)に設置されました。情報基盤センターの協力により、約70台のパソコン(シンクライアント方式)とスキャナー機能付きネットワークカラープリンタが運用されています。全学統一認証システムを介し、持ち込みパソコンで無線LANを利用することもできます。大学院生TA(ティーチング・アシスタント)がラーニング・アドバイザーとして常駐しており、パソコンを使用する授業や図書館が提供するリテラシー講習会にも活用されるなど、単なるパソコン利用スペースではなく、参加・協働する学習コミュニケーション空間として機能しています。

🌐 情報基盤センター <http://www.cc.ocha.ac.jp/>

キャリアカフェ

ラーニング・commonsに隣接するキャリアカフェは、平成19年12月に開設されました。図書館エントランスホールの自販機で購入したコーヒーや持ち込みの飲み物を片手に「リラックスできる知的空間、学生が主体となった知的コミュニケーション空間」を目指し、設置されたものです。少人数のグループ学習に最適で、無線LANに接続したパソコンを囲み、熱い議論が交わされることもあります。

キャリア支援センターによる就職セミナー、グローバル教育センターによる留学相談など、多様な学生支援サービスをワンストップで利用できる場所にもなっています。

🌐 キャリア支援センター <http://www.cf.ocha.ac.jp/csc/>

🌐 グローバル教育センター <http://www.cf.ocha.ac.jp/gec/out/>

🌐 イベント情報 <http://www.lib.ocha.ac.jp/event.html>

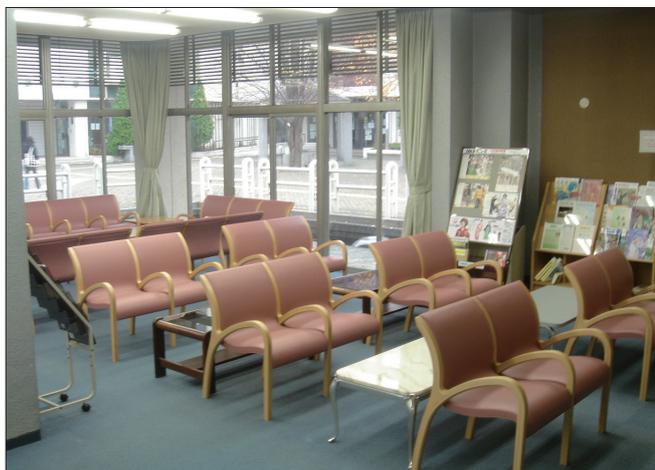


ラウンジ

大きなテーブル、ゆったりしたソファでくつろげるラウンジには、当日の新聞、週刊誌、情報誌などが配架されています。また、平成 22 年 5 月から、附属図書館と音楽表現コースの協働によるピアノコンサートが定期的で開催されています。ピアノは 1920 年代にドイツで製作されたベヒシュタイン社製のものです。70 年以上にわたって本学附属学校で音楽教育を支えてきました。大学資料委員会が、本学に残る歴史的の文物を保存し、次の世代にも受け継ぐために、演奏可能な状態に復元したものです。

🌐芸術・表現行動学科音楽表現コース
<http://www.li.ocha.ac.jp/geijutsu/ongaku/>

🌐コンサート情報 <http://www.lib.ocha.ac.jp/concert.html>



ノートパソコン自動貸出ロッカー

平成 22 年 4 月、クワイエット・スタディスペースに学生専用のノートパソコン自動貸出ロッカーが設置されました。40 台のノートパソコンを借り出して、当日中、図書館内で利用することができます。学生には大変好評なサービスです。平成 24 年 3 月、閲覧スペース内に設置された貸出ロッカーでは、さらに 34 台のノートパソコンが提供されています。

🌐ノートパソコン自動貸出ロッカーを設置(2010/4/23)
http://www.lib.ocha.ac.jp/topics/2010/notePC_100423.html



学習・研究支援サービス

レファレンスサービス

2階レファレンスカウンターでは、図書館の利用に関する質問・相談、ILL(学外への文献複写・図書借用申込み)サービス、他機関訪問に必要な紹介状の発行などを受け付けています。中でも特筆すべきサービスは、学生に対し、文献複写の取り寄せを無料で実施していることです。図書借用の場合は片道分の送料が無料になります。また平成24年2月からは、学部4年生以上と教職員を対象に、文献複写・図書貸借の申込みをオンラインサービスでも受け付けています。

📍オンラインサービス「ILL(文献複写・貸借依頼)」について
http://www.lib.ocha.ac.jp/online_ill/online_top.html

リテラシー講習会

附属図書館では、本学の学習・研究活動をサポートするためにさまざまな講習会を実施しています。年2回、6月と10月に集中的に開催される情報探索講習会「図書館を使いこなそう!」は、短時間で豊富な内容を効率よく学習したい利用者に向けています。「オーダーメイド講習会」は、授業やゼミ、研究室等のグループ単位の申し込みに対応しています。時間や内容は要望に応じてアレンジしますので、専攻分野や関心に即した内容をじっくり深く学習することができます。

📍講習会情報 <http://www.lib.ocha.ac.jp/koshukai.html>

LiSA (Library Student Assistant) プログラム

平成19年11月より始まった、図書館スタッフと学生の協働による図書館活性化プログラムです。多様な図書館資料に触れることにより、積極的な学習意欲を喚起すること、他者をサポートする体験を通じて、実践的なキャリア意識の形成を図ることを目標としています。

具体的には、半年を1期とし、図書館スタッフの指導・助言のもと、図書の装備、カウンター業務の補助、機関リポジトリのデータ入力など、さまざまな業務を体験します。学生が主体的に提案する資料展示や図書館ツアーなどの自主企画

平成19年度	第1期	13名	を取り上げることもあります。第9期(平成23年度)までに、のべ249名が参加しました。
平成20年度	第2期	10名	
	第3期	13名	
平成21年度	第4期	20名	
	第5期	32名	
平成22年度	第6期	42名	
	第7期	43名	
平成23年度	第8期	41名	
	第9期	35名	



相互利用協定と地域公開

附属図書館は、近隣の大学図書館と相互利用協定を締結し、資料の円滑な有効利用につとめています。平成 21 年 4 月には跡見学園女子大学図書館、平成 23 年 11 月には日本女子大学図書館との間で、それぞれの大学に所属する学生、教職員が、相互の図書館を身分証（学生証）の提示だけで訪問できるサービスを開始しました。

また、平成 21 年 4 月から文京区立図書館とも相互協力を開始しています。文京区民の方は、各文京区立図書館のカウンターへ申し込むことにより、本学の利用者カード（有料）を作成することができます。

🌐お茶の水女子大学附属図書館との相互利用協定校
<http://www.lib.ocha.ac.jp/sougoriyou.html>

🌐学外の方へ <http://www.lib.ocha.ac.jp/gakugai.html>

教育・研究成果コレクション「TeaPot」 (機関リポジトリ)

お茶の水女子大学の教育・研究成果を蓄積・発信する機関リポジトリは、平成 19 年 4 月に正式公開されました。本学の名前にちなんだ「TeaPot」の愛称で親しまれています。本学の「Annual Report」(個人別教育研究報告)は、現在、機関リポジトリを通じてのみ公開されています。また「お茶の水女子大学の学術雑誌」のページでは、本学の学部・学科・センター等が発行する雑誌の目次を公開し、一部の雑誌は本文の PDF ファイルにリンクしています。

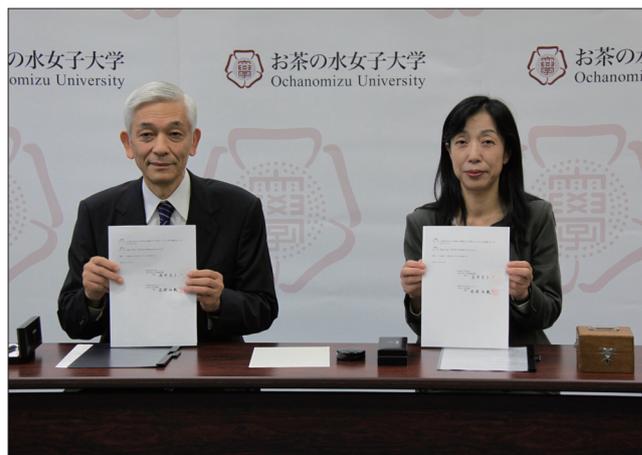
平成 24 年 3 月には、機関リポジトリを利用した「お茶の水女子大学 E-book サービス」を開始しました。本学の研究・教育成果としての著作を電子出版物として無償で発信するサービスです。第 1 弾として、2 件の著作を公開しています。各著作の印刷体版を希望する方には、オン・デマンド出版による簡易製本版を「特定非営利活動法人お茶の水学術事業会」が有償で販売しています。

	コンテンツ 累積件数	アクセス 件数	ダウンロード 件数
平成 20 年度	17,563	209,128	122,162
平成 21 年度	31,882	375,251	219,396
平成 22 年度	33,501	442,976	247,247
平成 23 年度	34,209	539,666	326,212

🌐TeaPot <http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/>

🌐学術雑誌 <http://www.lib.ocha.ac.jp/oab/>

🌐お茶大 E-book サービス <http://www.lib.ocha.ac.jp/e-book/>



2. 統計編

蔵書統計

蔵書数

年度	和書	洋書	計
2004	397,209	196,269	593,478
2005	402,277	197,372	599,649
2006	405,681	199,219	604,900
2007	410,298	201,238	611,536
2008	419,703	203,063	622,766
2009	429,370	204,333	633,703
2010	433,193	207,041	640,234
2011	448,460	209,399	657,859

単位：冊

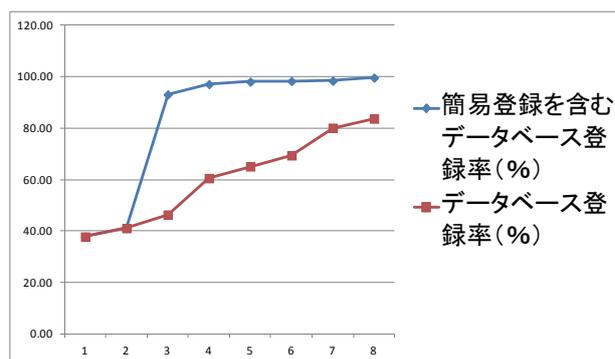
年度	和雑誌	洋雑誌	計
2004	7,976	2,573	10,549
2005	8,363	2,569	10,932
2006	8,488	2,656	11,144
2007	8,620	2,722	11,342
2008	8,668	2,704	11,372
2009	7,063	2,564	9,627
2010	7,181	2,578	9,759
2011	7,443	2,617	10,060

単位：種

データベース登録率

年度	蔵書冊数	データベース登録冊数	データベース登録率 (%)
2004	593,478	224,795	37.88
2005	599,649	246,968	41.19
2006	604,900	280,697	46.40
2007	611,536	370,498	60.58
2008	622,766	405,837	65.17
2009	633,703	440,118	69.45
2010	640,234	512,904	80.11
2011	657,859	550,830	83.73

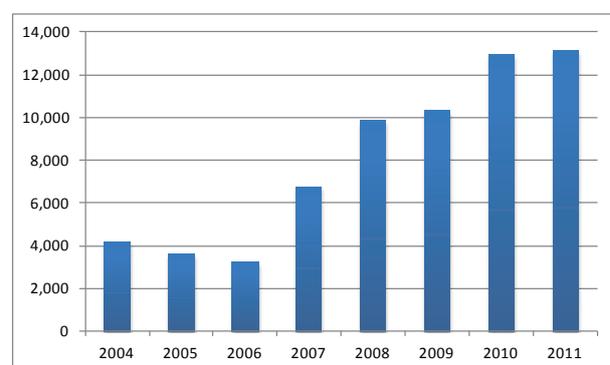
単位：冊



電子ジャーナル

年度	利用可能種数
2004	4,203
2005	3,605
2006	3,256
2007	6,722
2008	9,863
2009	10,333
2010	12,930
2011	13,138

単位：種



視聴覚資料

年度	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	カセットテープ	ビデオテープ	CDCD, DVD, LD	レコード	映画フィルム	スライド	CD-ROM, DVD-ROM	その他	計
2004	457	4,331	118	958	1,246	15	0	2	175	95	7,397
2005	457	4,338	118	995	1,393	15	0	2	221	96	7,635
2006	457	4,338	118	1,005	1,410	15	0	2	237	96	7,678
2007	457	4,338	118	1,056	1,550	15	0	2	273	0	7,809
2008	457	4,338	118	1,108	1,691	15	0	2	312	0	8,041
2009	715	3,443	84	1,004	2,166	3	0	4	270	0	7,689
2010	731	3,443	84	984	2,194	3	0	4	281	0	7,724
2011	732	3,443	84	978	2,495	3	0	5	299	0	8,039

受入統計

年間図書受入数

年度	購入		寄贈		その他		計
	和書	洋書	和書	洋書	和書	洋書	
2004	4,433	1,406	748	112	400	838	7,937
2005	4,168	1,357	1,352	206	335	573	7,991
2006	3,917	1,080	1,758	676	307	88	7,826
2007	4,088	957	3,208	706	292	554	9,805
2008	6,669	1,208	3,763	575	293	371	12,879
2009	8,031	1,320	2,588	633	347	443	13,362
2010	8,328	1,462	2,835	756	303	307	13,881
2011	8,160	1,729	7,759	667	213	179	18,707

単位：冊

年間雑誌受入数

年度	購入		寄贈		その他		計
	和雑誌	洋雑誌	和雑誌	洋雑誌	和雑誌	洋雑誌	
2004	531	651	3,716	406	0	2	5,306
2005	573	597	1,523	155	0	0	2,848
2006	518	614	1,261	544	0	0	2,937
2007	520	528	1,934	171	0	0	3,153
2008	496	549	1,654	863	0	0	3,562
2009	564	460	5,737	764	0	0	7,525
2010	536	329	2,146	530	36	2	3,579
2011	552	394	1,909	203	47	1	3,106

単位：種

サービス統計

年間開館日数

年度	平日	土曜日	休日	計
2004	228	32	0	270
2005	239	31	0	270
2006	235	27	0	262
2007	234	28	0	262
2008	236	28	0	264
2009	235	30	0	265
2010	223	32	1	256
2011	236	28	0	264

単位：日

利用対象者数

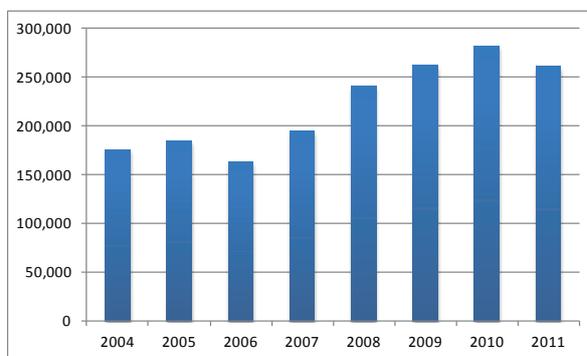
年度	学生	教職員	計
2005	3,435	1,290	4,725
2006	3,428	1,383	4,811
2007	3,490	1,343	4,833
2008	3,397	1,364	4,761
2009	3,372	1,410	4,782
2010	3,346	1,417	4,763
2011	3,329	1,369	4,678

学生には聴講生等、教職員には非常勤その他を含む 単位：人

年間入館者数

年度	入館者数
2004	176,303
2005	184,974
2006	163,399
2007	195,209
2008	241,128
2009	262,610
2010	281,654
2011	261,504

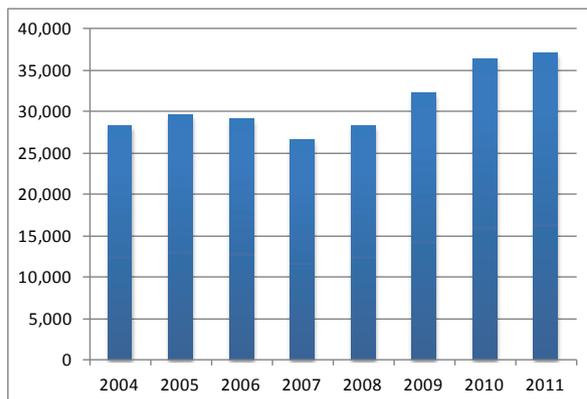
単位：人



年間貸出冊数

年度	学生	教職員	その他	計
2004	25,489	2,346	465	28,300
2005	26,972	1,851	866	29,689
2006	26,861	1,593	665	29,119
2007	24,205	1,665	623	26,493
2008	25,201	2,034	1,095	28,330
2009	29,653	1,883	880	32,416
2010	33,662	1,982	827	36,471
2011	33,572	2,222	1,344	37,138

単位：冊



文献複写件数・枚数

年度	利用者別件数			枚数
	学内	学外	計	
2004	16,401	2,801	19,202	114,925
2005	14,491	2,618	17,109	107,911
2006	13,448	3,552	17,000	108,293
2007	13,012	2,826	15,838	97,452
2008	13,310	2,313	15,623	101,467
2009	14,200	2,637	16,837	94,783
2010	14,796	2,767	17,563	88,672
2011	10,044	2,364	12,408	75,078

単位：件・枚

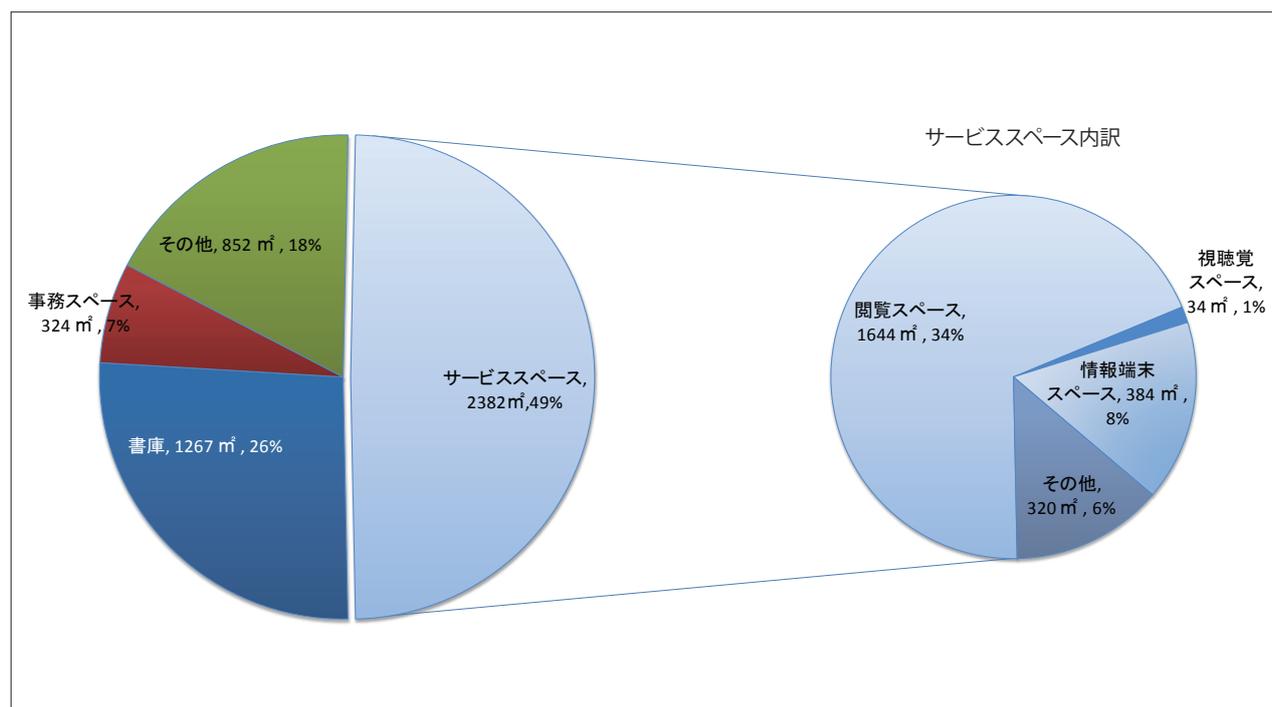
図書館間相互協力 (ILL サービス) 件数

年度	依頼			受付			①②のうち、海外	
	貸借 (借受)	複写	①計	貸借 (貸出)	複写	②計	依頼	受付
2004	548	3,400	3,948	311	1,534	1,845	12	0
2005	451	2,837	3,288	252	1,504	1,756	25	0
2006	497	3,094	3,591	297	1,433	1,730	29	3
2007	615	4,458	5,073	276	1,486	1,762	71	18
2008	640	4,633	5,273	466	1,403	1,869	90	11
2009	641	4,924	5,565	439	1,583	2,022	122	17
2010	629	4,663	5,292	397	1,393	1,790	87	8
2011	556	4,900	5,456	388	1,113	1,501	130	32

単位：件

施設統計

用途別面積



閲覧座席数

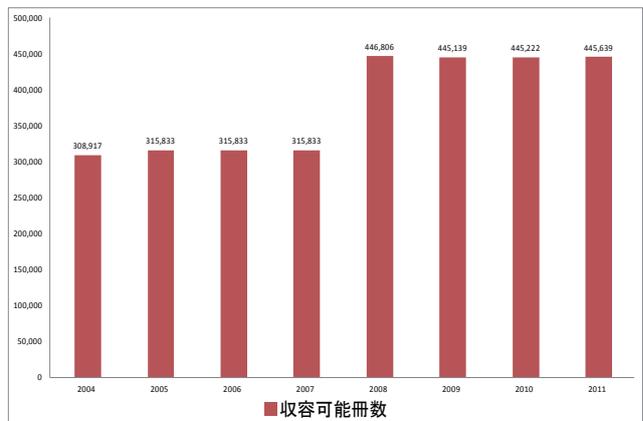
年度	座席数
2004	315
2005	315
2006	315
2007	369
2008	439
2009	452
2010	479
2011	470

単位：席

書架収容可能冊数

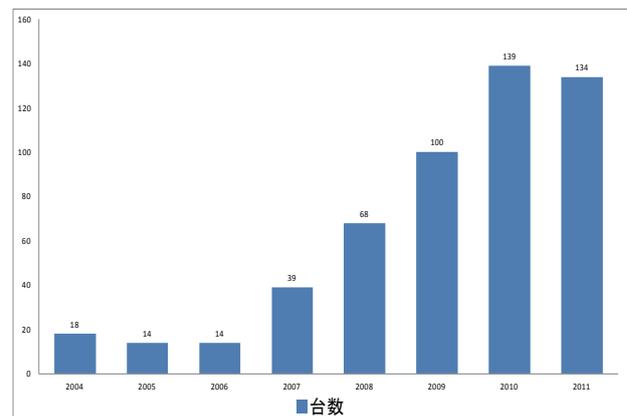
年度	棚板延長	収容可能冊数
2004	11,121	308,917
2005	11,370	315,833
2006	11,370	315,833
2007	11,370	315,833
2008	16,085	446,806
2009	16,025	445,139
2010	16,028	445,222
2011	16,043	445,639

単位：m・冊



館内利用者用パソコン台数

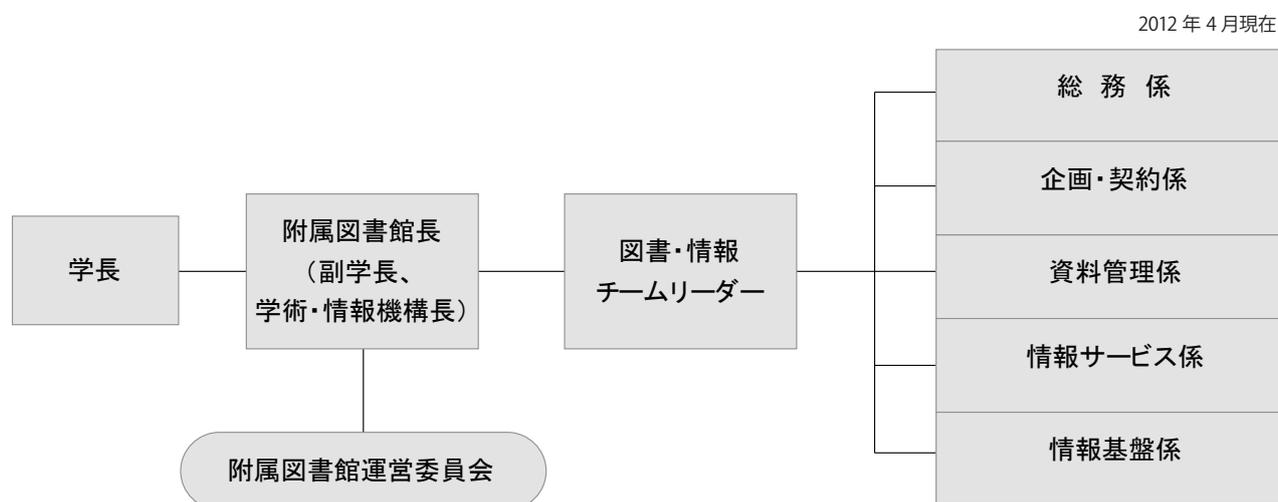
年度	台数
2004	18
2005	14
2006	14
2007	39
2008	68
2009	100
2010	139
2011	134



3. 資料編

組織と職員

組織



職員

2012年4月現在

区分	常勤職員	非常勤職員	派遣職員	計
図書・情報 チームリーダー	1			1
総務係	1	2	0	3
企画・契約係 (雑誌・電子資料担当)	2	1	0	3
資料管理係 (目録担当)	2	1	0	3
情報サービス係 (利用者サービス担当)	2	4	0	6
情報基盤係 (全学情報基盤担当、 大学歴史資料担当)	1	1	1	3
合計	9	10	1	20

チーム内プロジェクト

2012年4月現在

企画展示

リテラシー教育

TeaPot (機関リポジトリ)

システム更新

図書館ホームページ更新

ピアノコンサート

館内マナー

館内環境整備

■終了したプロジェクト

・資料配架 ・館内整備(一般雑誌) ・館内整備(大型図書) ・利用案内更新 ・ホームページ英文化

サービス

利用できる人

- ・ 本学在籍者（名誉教授含む）、本学附属高等学校生徒
- ・ 卒業生 / 修了生（単位修得退学含む）、元教職員
- ・ 相互利用協定校（跡見学園女子大学、日本女子大学）在籍者
- ・ 「文京区民へ開放に関する覚書」に基づく利用者
- ・ その他附属図書館長が許可する者

参考:利用案内 <http://www.lib.ocha.ac.jp/guide.html>

開館時間

- ・ 月～金 9:00 ～ 21:00（授業のない日は 17:00 まで）
- ・ 土 9:00 ～ 17:00（夏・冬・春期休業期間中は閉館）

休館日

- ・ 日曜日、夏・冬・春期休業期間中の土曜日、国民の祝日・休日および振替休日
- ・ 夏季一斉休業期間、蔵書点検期間、德音祭、創立記念日、年末年始
- ・ 大学入試センター試験、本学の学部入学試験、閲覧スペース整備日

参考:図書館カレンダー [http:// www.lib.ocha.ac.jp/calendar.html](http://www.lib.ocha.ac.jp/calendar.html)

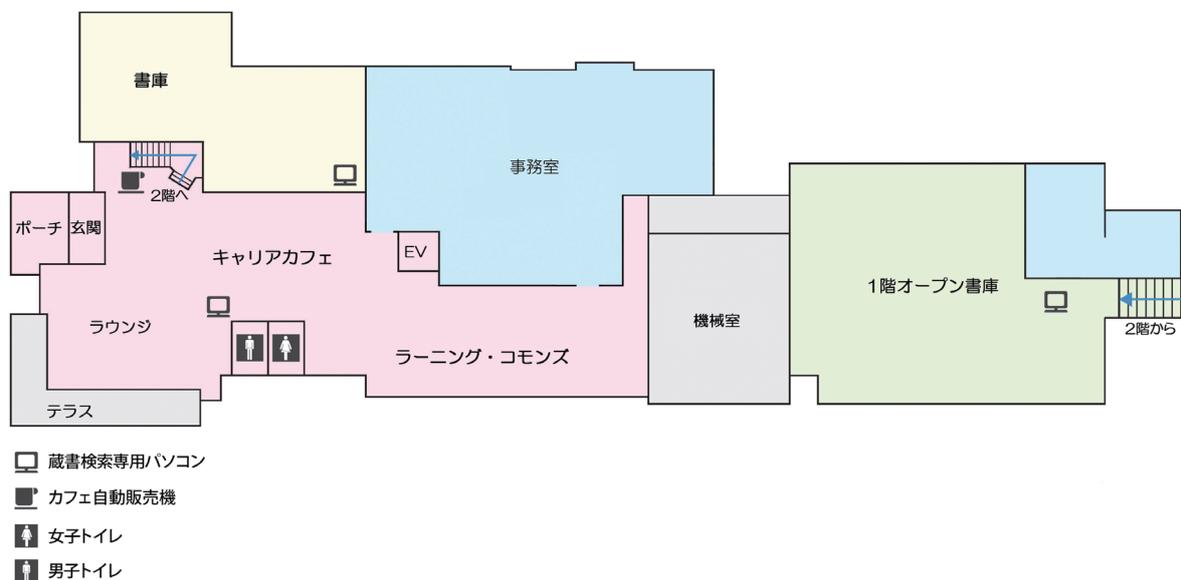
貸出

区分	冊数	期間	視聴覚資料
学部1～3年生	10	2週間	3点(1週間)
学部4年生、大学院生、 教員(非常勤)	20	4週間	
研究生等	10	2週間	
教員(常勤)、名誉教授、 役員	20	8週間	
職員(常勤)、元職員	10	4週間	
高校生、卒業生 / 修了生、 職員(非常勤)等	5	2週間	
文京区民	5	2週間	1点(1週間)

館内図

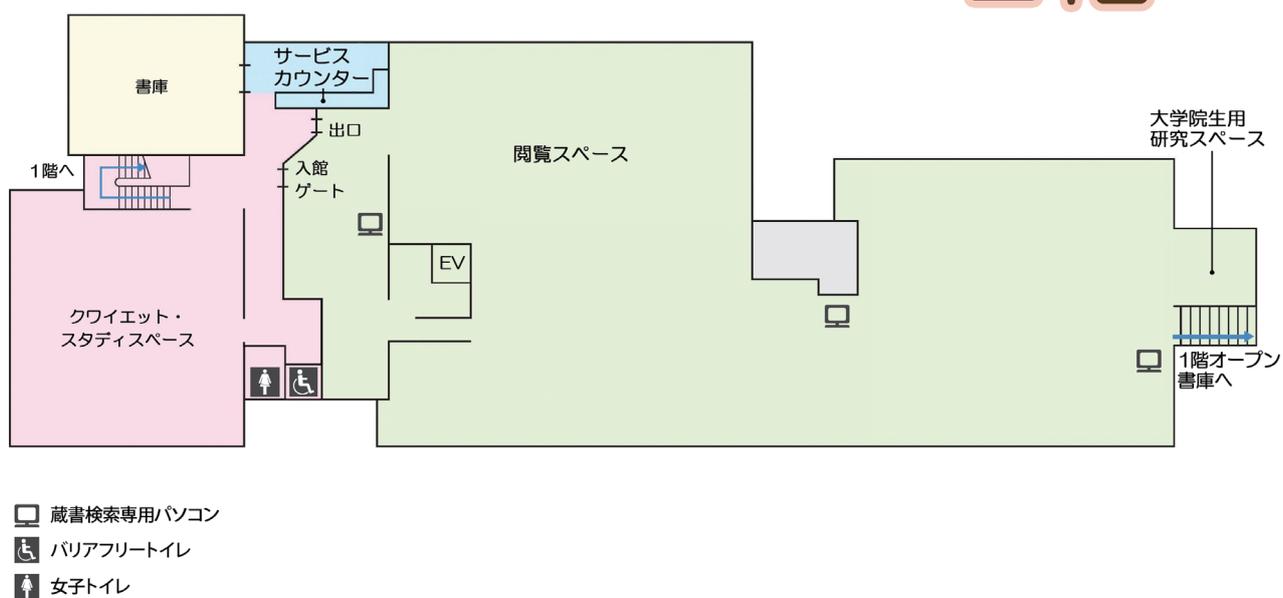
1階

1階



2階

2階



記念文庫、大型コレクション

記念文庫

文庫名 / 受入年度	内 容	分類記号	数量
倉橋文庫 1960 (昭和 35) 年度	倉橋惣三氏の幼児教育界における功績を記念して設置された文庫。	N24 ~ N25	1,208 冊
宮嶋文庫 1955 (昭和 30) 年度	宮嶋鋭夫氏旧蔵書。哲学、美学、文学関係の図書。	N20	149 冊
矢崎文庫 1957 (昭和 32) 年度	矢崎美盛氏旧蔵書。哲学、美学、美術史関係の図書。	N21 ~ N23	2,700 冊
ガーリティ文庫 1962 (昭和 37) 年度	世界一周旅行の途中日本に立ち寄ったアメリカの M.R.Guerity 夫人から寄贈された図書。主に教育関係の図書。	N26	471 冊
勝部文庫 1968 (昭和 43) 年度	勝部真長元教授の蔵書の一部。哲学、倫理学、道徳を中心とした叢書類が多い。	N27 ~ N28	282 冊
栗田文庫 1985 (昭和 60) 年度	昭和 45 年附属小学校卒業生の栗田茂氏から寄贈された図書。1950 年代に発行された世界各国の絵本、児童関係図書。	N29 ~ N30	1,967 冊

大型コレクション

コレクション名 / 受入年度	内 容
ジェンダー関係学位論文 1997 (平成 9) 年度	アメリカ、カナダの大学において、1932 ~ 1996 年度までに受理された女性学のカテゴリーの中のジェンダースタディーズの博士学位論文。
History of women マイクロフィルム 1979 (昭和 54) 年度	アメリカの 9 種の女性史コレクションの主要資料の集大成。
A collection on history of women 1982 (昭和 57) 年度	19 世紀より 1970 年代までの女性の社会的、経済的、政治的、文化的活動に関する資料。
A collection of women in society on historical and sociological perspective 1988 (昭和 63) 年度	19 世紀の刊行本 120 点を含む婦人問題に関する文献集。
Edition Corvery: English language collection マイクロフィッシュ 1994 (平成 6) 年度	18 ~ 19 世紀初頭にかけての大衆的小説作品を中心に劇、詩等を加えた英文学のコレクション。無名作家や女性詩人の比率が高い。

学内図書室、資料室一覧

文教育学部

図書室・資料室名	OPAC 所在表示	場所	開室日	開室時間
哲学図書室	哲学・倫理学・美術史コース	文教 1-6 階 618	月～金	10:00-17:00
史学図書室	比較歴史学コース	文教 1-6 階 614	月～金	10:00-17:00
地理学図書室	地理学コース	文教 1-7 階 710	月～金	10:00-17:00
日本語教育図書資料室	日本語教育コース	文教 2-1 階 103	月～木	12:00-17:00
日文図書室	日本語・日本文学コース	文教 1-5 階 522	月～金	11:00-17:00
中文図書室	中国語圏 言語文化コース	文教 1-4 階 415	月・水・金	10:00-17:00
			火	13:00-17:00
			木	13:30-17:30
英文図書室	英語圏言語文化コース	文教 1-4 階 419	月～金	10:00-17:00
独文図書室	仏語圏言語文化コース(独文)	共講 3-2 階 203	仏文図書室にお尋ねください。	
仏文図書室	仏語圏言語文化コース	共講 3-2 階 206	月～金	10:00-13:45 14:45-17:00
教育科学図書室	教育科学講座	文教 1-2 階 218-1	月～金	10:00-17:00
応用社会学図書室	社会学コース	文教 1-2 階 218-1 (文 1-616)	教育科学図書室にお尋ねください。	
心理学研究室	心理学コース	文教 1-2 階 228	月～木	10:00-16:30
			金	10:00-15:30
舞踊図書資料室	舞踊教育学コース	文教 2-2 階 206	月・水・金	10:00-17:00
			木	10:00-15:00
音楽資料室	音楽表現コース	文教 2-1 階 108	月～金	10:00-17:00

理学部

図書室・資料室名	OPAC 所在表示	場所	開室日	開室時間
理学部共通図書室	理学部共通図書室、物理学 学科、化学科、生物学科	理学 1-6 階 601	火・木	10:00-16:30
数学図書室	数学科	理学 1-6 階 602	月～金	10:00-17:00
情報科学図書室	情報科学科	理学 3-5 階 501	月～金	10:00-17:00

生活学部

図書室・資料室名	OPAC 所在表示	場所	開室日	開室時間
生活科学部 共通図書室	生活科学部共通図書室、 食物栄養学講座、人間・環 境科学講座(旧)生活工学 講座(旧)人類科学講座	本階 2 階 208	図書館サービスカウンターに お申し出ください。	
生活科学部共通 図書室分室 1	生活科学部 共通図書室分室 1	本階 2 階 266		
生活科学部共通 図書室分室 2	生活科学部 共通図書室分室 2	本階 2 階 267		
発達臨床心理学図書室	発達臨床心理学講座、 (旧) 児童	本階 3 階 353	月～金	10:30-16:30
生活社会科学助手室	生活社会科学講座、 (旧) 家庭経営 DB	本階 3 階 301	月・火・金	9:15-16:00
			水	9:15-17:00
			木	11:00-15:30
生活文化学図書室	生活文化学講座	本階 3 階 329	月～金	10:00-13:00 14:00-16:00
生活環境研究センター	生活環境研究センター	総合研究棟 3 階 310	月～金	10:00-12:00 13:00-17:00

沿革

明治 8 年	(1875)	東京女子師範学校開校 (現在の文京区湯島 1 丁目) 書籍縦覧室設置 読書掛 (教官) を置く
明治 41 年	(1908)	東京女子高等師範学校と改称 (奈良女子高等師範学校設置のため)
明治 43 年	(1910)	図書主任 (教授) を置く
明治 44 年	(1911)	事務分掌規程中に図書係新設、教務係から独立
大正 元年	(1912)	図書室規程を制定
大正 5 年	(1916)	図書主任を図書室主任に改め、図書室主任規程を制定
大正 12 年	(1923)	関東大震災罹災、図書室も灰塵となる
大正 13 年	(1924)	仮校舎に図書室設置
昭和 2 年	(1927)	図書係から図書課になる、図書室主任を図書館幹事に改める
昭和 7 年	(1932)	現在地に大学が移転
昭和 8 年	(1933)	図書館竣工移転 (現理学部 2 号館位置)、鉄筋コンクリート 3 階建書庫 90 坪・出納用エレベーター設置、木造平屋建の図書閲覧室 38 坪・90 名収容、他に事務室、幹事室、生徒閲覧室、教官閲覧室 新分類法 (十進法) を定め、帳簿式目録をカード式目録にする (分類・著者・書名カード)
昭和 20 年	(1945)	貸出中の図書 4,584 冊 (和書 3,945 洋書 639) が戦火に遭い焼失
昭和 24 年	(1949)	お茶の水女子大学新設、附属図書館となる (事務部は庶務係と司書係) 桜蔭会 (同窓会) から図書購入費 1,948,000 円の寄付を受ける
昭和 25 年	(1950)	図書館月報を発行
昭和 26 年	(1951)	附属図書館利用規程を施行
昭和 29 年	(1954)	附属図書館運営委員会規程を制定
昭和 34 年	(1959)	新図書館竣工移転 (1,496㎡、現在地)
昭和 35 年	(1960)	附属図書館利用規程を改正
昭和 36 年	(1961)	閲覧係を置く
昭和 37 年	(1962)	日本十進分類法を採用
昭和 47 年	(1972)	図書館増改築竣工 (増築 1,582㎡、改築 1,496㎡)
昭和 50 年	(1975)	館内に女性文化資料館を設置
昭和 52 年	(1977)	参考係を置く
昭和 57 年	(1982)	図書館増築 (1450㎡) 竣工
昭和 61 年	(1986)	女性文化資料館を廃す (女性文化研究センターに改組)
平成 元年	(1989)	時間外開館を時間延長
平成 2 年	(1990)	図書館業務電算化実施 附属図書館規則を制定 OPAC (利用者用オンライン目録検索システム) サービス開始
平成 3 年	(1991)	オーディオコーナー開設 総務係、情報管理係、情報サービス係、情報システム係の係構成とする
平成 4 年	(1992)	学術情報センターの NACSIS-ILL システムに参加
平成 6 年	(1994)	集密書架設置 (地下書庫) 学内 LAN による OPAC サービス開始
平成 8 年	(1996)	CD-ROM サーバー設置 ジェンダー研究センターに改組
平成 9 年	(1997)	利用者複写機 (大学生協コピー機) を 1 台設置
平成 10 年	(1998)	自動入退館システム稼働開始 レファレンスカウンターを 2 階閲覧カウンター横に移す (1 階事務室より)
平成 11 年	(1999)	書庫 5 を集密書架に変更する
平成 13 年	(2001)	利用者用複写機を 1 台増設 (大学生協コピー機) 利用者用エレベーター稼働開始、情報コンセント設置、ブックポスト使用開始

平成 15 年	(2003)	利用者用複写機 (大学生協コピー機) を 1 台、カラーコピー対応機種に変更
平成 16 年	(2004)	係体制および人員配置を変更 (情報システム係 4 名→2 名、情報サービス係 4 名→6 名)
平成 17 年	(2005)	自動貸出装置 2 台稼動開始 オンラインサービス開始
平成 18 年	(2006)	附属図書館の理念を策定 新入生向けの附属図書館オリエンテーション開始 国立情報学研究所の公募「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」に採択 論文検索オリエンテーション開始
平成 19 年	(2007)	図書館業務システム更新 (NTT データ九州社 NALIS) リベラルアーツ図書コーナー新設 附属図書館第 1 期改修工事完了 ラーニング・commons 設置 機関リポジトリ「TeaPot: お茶の水女子大学教育・研究成果コレクション」正式公開 国立情報学研究所の公募委託事業「平成 19 年度総合目録データベース遡及入力事業 (事業 A)」に採択 学生 ILL 料金の無料化を試行的に開始 LiSA (Library Student Assistant) プログラム開始 ラウンジリニューアル キャリアカフェ設置
平成 20 年	(2008)	電子掲示板設置 集密書架設置 桜蔭会から、閲覧用椅子 8 脚の寄附を受ける 大学院生用研究スペース設置 キャリアカフェ文庫設置 利用者複写機を 1 台増設 第 1 回企画展示実施 第 1 期、第 2 期資料移動および書庫整備を実施 キャリアカフェ文庫「一夜貸し」開始
平成 21 年	(2009)	「お茶の水女子大学デジタルアーカイブズ: 先駆的女性研究者データベース」公開 跡見学園女子大学図書館とのライブラリコネクト (相互協力) 開始 文京区立図書館とのライブラリコネクト (相互協力) により文京区民の附属図書館利用開始 お茶の水女子大学附属図書館「ライブラリカフェ」開催
平成 22 年	(2010)	全館で無線 LAN 使用可能になる ノートパソコン自動貸出ロッカー運用開始 ラウンジでピアノコンサート初開催
平成 23 年	(2011)	リーフレット「図書館を使いこなそう! クイックガイド」作成 院生スペースリニューアル 図書館ホームページ (英文版) 公開 「お茶の水女子大学デジタルアーカイブズ」 (英文版) 公開 大型本コーナーの整備を実施し大型本の貸出を開始 日本女子大学図書館とのライブラリコネクト (相互協力) 開始
平成 24 年	(2012)	「図書館利用案内」をリーフレット版に更新 「お茶の水女子大学 E-book サービス」公開 「Ochanomizu Search β版」公開 ノートパソコン自動貸出ロッカーを閲覧スペースに 1 機増設

(2012 年 8 月現在)

歴代附属図書館長

就任期間	館長	備考
昭和24年6月(1949)～昭和25年4月	久米 又三	
昭和25年4月(1950)～昭和26年7月	林 太郎	
昭和26年7月(1951)～昭和33年11月	久米 又三	昭和31,33年再選
昭和33年11月(1958)～昭和37年10月	井本 農一	昭和35年再選
昭和37年11月(1962)～昭和39年10月	大槻 虎男	
昭和39年11月(1964)～昭和40年9月	鍋島 能弘	
昭和40年9月(1965)～昭和40年10月	藤田 健治	事務取扱
昭和40年10月(1965)～昭和42年10月	谷田 閲次	
昭和42年10月(1967)～昭和43年9月	鍋島 能弘	
昭和43年9月(1968)～昭和45年8月	谷田 閲次	
昭和45年9月(1970)～昭和47年8月	阿阪 三郎	
昭和47年9月(1972)～昭和51年2月	市古 宙三	昭和49年再選
昭和51年2月(1976)～昭和55年2月	太田 次郎	昭和53年再選
昭和55年2月(1980)～昭和58年4月	和田 久徳	昭和57年再選
昭和58年4月(1983)～昭和62年4月	堤 精二	昭和60年再選
昭和62年4月(1987)～平成元年4月	青木 和夫	
平成元年4月(1989)～平成3年4月	荒川 信彦	
平成3年4月(1991)～平成4年10月	浅井 清	
平成4年4月(1992)～平成6年10月	佐藤 保	
平成6年11月(1994)～平成10年10月	大口 勇次郎	平成8年再選
平成10年11月(1998)～平成12年10月	小池 三枝	
平成12年11月(2000)～平成16年3月	藤原 正彦	平成14年再選
平成16年4月(2004)～平成17年3月	山本 秀行	
平成17年4月(2005)～平成21年3月	羽入 佐和子	
平成21年4月(2009)～平成23年4月	近藤 讓	
平成23年4月(2011)～	鷹野 景子	

(2012年8月現在)

国立大学法人お茶の水女子大学附属図書館規則

(平成16年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人お茶の水女子大学組織運営規則第6条第3項の規定に基づき、国立大学法人お茶の水女子大学附属図書館（以下「附属図書館」という。）に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 附属図書館は、教育研究に必要な図書、逐次刊行物その他の資料を収集、整理、保存し、職員、学生その他の利用に供するとともに、その教育研究の向上に資することを目的とする。

(附属図書館長)

第3条 附属図書館に附属図書館長を置き、学術・情報機構長をもって充てる。

2 附属図書館長は、附属図書館の業務を掌理する。

(運営委員会)

第4条 附属図書館の運営に関する重要事項を審議するため、国立大学法人お茶の水女子大学附属図書館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第5条 附属図書館の事務は、図書・情報チームが行う。

(附属図書館の利用)

第6条 附属図書館の利用に関し必要な事項は、別に定める。

(雑則)

第7条 この規則に定めるもののほか、附属図書館に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

国立大学法人お茶の水女子大学附属図書館運営委員会規程

(平成16年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人お茶の水女子大学附属図書館規則第4条第2項の規定に基づき、国立大学法人お茶の水女子大学附属図書館運営委員会（以下「運営委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 運営委員会は、附属図書館に関する次に掲げる事項を審議する。

- 一 規則の制定改廃に関する事項
- 二 予算に関する事項
- 三 施設の設置及び廃止に関する事項
- 四 その他附属図書館の運営に関する重要な事項

(組織)

第3条 運営委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- 一 附属図書館長
 - 二 各学部から選出された教員各1人
 - 三 大学院人間文化創成科学研究科から選出された教員1人
 - 四 情報基盤センターから選出された教員1人
 - 五 図書・情報チームリーダー
- 2 前項第2号から第4号の委員は、学長が任命する。

(任期)

第4条 前条第1項第2号から第4号の委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の委員に欠員が生じた場合、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 運営委員会に委員長を置き、附属図書館長をもって充てる。

- 2 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長にやむを得ない事故があるときは、委員長が指名した委員がその職務を代理する。

(運営委員会の成立等)

第6条 運営委員会の成立には、委員の3分の2以上の出席を必要とする。

- 2 運営委員会の議事は他の特別の規定がない場合は、出席委員の過半数によりこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めるときは、運営委員会の同意を得て委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(図書選定委員会)

第8条 図書の選定に関しては、図書選定委員会を置く。

2 図書選定委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第9条 運営委員会の事務は、図書・情報チームが行う。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年6月14日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

国立大学法人お茶の水女子大学附属図書館利用規程

(平成16年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人お茶の水女子大学附属図書館規則第6条の規定に基づき、国立大学法人お茶の水女子大学附属図書館（以下「附属図書館」という。）の利用に関し必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この規程において「資料」とは、次に掲げるものをいう。

- 一 図書
- 二 逐次刊行物
- 三 視聴覚資料
- 四 その他の資料

(貴重資料及び非印刷媒体資料の利用)

第3条 前条に規定する資料のうち、貴重資料及び非印刷媒体資料の利用については、別に定める。

(休館日)

第4条 附属図書館の休館日は、次のとおりとする。

- 一 日曜日
- 二 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- 三 本学の創立記念日（11月29日）
- 四 大学入試センター試験及び本学の入学試験当日
- 五 徽音祭当日
- 六 年末年始（12月28日から翌年1月4日まで）
- 七 夏季一斉休業日

2 前項の規定にかかわらず、附属図書館長（以下「館長」という。）が必要と認めるときは、臨時に閲覧業務の全部又は一部を休止することができる。

(開館時間)

第5条 附属図書館の開館時間は、次のとおりとする。

- 一 平日 午前9時から午後9時まで
- 二 土曜日 午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、学則第26条に規定する春期・夏期・冬期休業日及び前・後学期末試験後の授業が行われない日については、次のとおりとする。

- 三 平日 午前9時から午後5時まで
- 四 土曜日 閉館

3 前2項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。
(利用者)

第6条 附属図書館を利用できる者(以下「利用者」という。)は、次に掲げる者とする。

- 一 本学の職員、名誉教授、元職員(常時勤務にあった者に限る。)及びこれに準ずる者
- 二 本学の学部又は大学院の学生並びにこれに準ずる者
- 三 本学附属高等学校生徒
- 四 本学学部を卒業した者及び本学大学院を修了した者(単位修得退学を含む。)並びに本学附属高等学校を卒業した者
- 五 国立大学法人お茶の水女子大学附属図書館の文京区民への開放に関する覚書に基づき利用を許可された者(以下「文京区民」という。)
- 六 その他附属図書館の利用を申し出た学外者

(利用証の交付)

第7条 利用者は、附属図書館利用証(以下「利用証」という。)の交付を受けるものとする。

ただし、本学の学部及び大学院の学生については、学生証をもって、職員(常勤)については身分証明書をもって利用証とすることができる。

- 2 利用者は、利用証、学生証又は身分証明書を携行し、附属図書館職員(以下「係員」という。)が求めたときは、これを呈示しなければならない。
- 3 利用証は、他人に貸与してはならない。
- 4 利用証の交付等については、館長が別に定める。

(開架資料の閲覧)

第8条 利用者(第6条第6号の利用者を除く。)は、開架閲覧室の資料(以下「開架資料」という。)を閲覧しようとするときは、所定の手続を経なければならない。

- 2 第6条第6号の利用者(以下「学外利用者」という。)が開架資料を閲覧しようとする場合は、次に掲げる方法により閲覧することができる。
 - 一 学外利用者は、資料利用票に必要事項を記入し、閲覧カウンターに申し出て、開架資料の閲覧を受けるものとする。
 - 二 開架資料は、所定の時間までに係員へ申込み及び返却するものとし、館内の所定の場所で閲覧するものとする。

(書庫内資料の閲覧)

第9条 利用者は、書庫内資料を閲覧しようとするときは、資料利用票に必要事項を記入し、閲覧カウンターに申し出ることにより、書庫内資料を閲覧することができる。

- 2 書庫内資料は、所定の時間までに係員へ申込み及び返却するものとし、館内の所定の場所で閲覧するものとする。

(書庫に入庫できる者)

第10条 利用者(第6条第3号、第5号及び第6号の利用者を除く。)は、書庫に入庫することができる。ただし、一部の書庫については、館長の承認を得なければ、入庫できない。

2 書庫に入庫する者は、所定の手続を経なければならない。

(閲覧の制限)

第11条 館長は、次に掲げる場合は、閲覧を制限することができる。

- 一 資料に「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」(平成13年法律第140号。以下「情報公開法」という。)第5条第1号、第2号及び第4号イに掲げる情報(個人情報に係る部分等)が記録されていると認められる場合における当該情報が記録されている部分
- 二 資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は情報公開法第5条第2号に規定する法人等から寄贈又は寄託を受けている場合において、当該期間が経過するまでの間
- 三 資料の原本を利用させることにより当該原本の破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合又は当該資料の原本が現に使用されている場合
- 四 その他前・後学期末試験期間中において閲覧室等が非常に混雑している場合等、本学の教育研究に支障を来すおそれがある場合

(館外帯出できる資料)

第12条 利用者(学外利用者を除く。)は、第2条第1号に規定する図書又は第3号に規定する視聴覚資料で次に掲げるものを除いた資料(以下「帯出可資料」という。)について、所定の手続を経て、館外帯出を受けることができる。

- 一 参考図書
- 二 貴重図書
- 三 著作者から帯出の許諾を得ていない視聴覚資料
- 四 その他特別な資料

2 帯出可資料の館外帯出冊数又は点数及びその期間は、次のとおりとする。

区分	帯出冊数	帯出期間	視聴覚資料については、3点、期間は1週間とする。
役員、教育職員(常勤)、研究職員(常勤)、特任教員、保育所職員、名誉教授	20冊	8週間	
教育職員(非常勤)、研究職員(非常勤)、客員教授等、大学院学生、学部学生(4年)	20冊	4週間	
事務職員(常勤)、技術職員(常勤)、元役員、元職員(常勤)	10冊	4週間	
学部学生(1~3年)	10冊	2週間	
事務職員(非常勤)、技術職員(非常勤)、大学院修了生(単位修得退学を含む。)、学部卒業生、附属高等学校生徒、附属高等学校卒業生、その他の者	5冊	2週間	

3 前項の規定にかかわらず、教員については授業に必要な場合は、手続の上、帯出期間を6か月まで延長することができる。

(帯出資料の転貸禁止)

第13条 館外帯出した帯出可資料(以下「帯出資料」という。)は、館外帯出を受けた帯出者(以下「帯出者」という。)が保管の責を負うものとし、他人に転貸してはならない。

(帯出資料の返却)

第14条 帯出者は、帯出資料を所定の期限までに閲覧カウンターに必ず返却しなければならない。

2 帯出者が帯出資料を所定の期限までに返却しないときは、当該帯出資料返却後、延滞日数分の期間、帯出可資料の館外帯出を停止するものとする。

3 帯出者は、職員、学生又は生徒の身分を失ったとき若しくは利用証が失効したときには、帯出資料を速やかに返却しなければならない。

4 館長が必要と認めたときは、帯出者に帯出資料の返却を求めることができる。

(附属図書館以外の資料の利用)

第15条 本学が所蔵している附属図書館以外の資料のうち、利用者から利用の申出があったときは、本学における教育研究に支障がない範囲内で利用に応じるものとする。

(文献複写)

第16条 利用者は、教育又は調査研究の用に供することを目的とするときは、資料の複写(以下「文献複写」という。)を依頼することができる。

2 文献複写に関しては、別に定める。

(参考調査)

第17条 利用者は、教育又は調査研究のため、参考となる学術情報の提供及び関係資料の調査を依頼することができる。

2 前項により依頼された場合において、特に経費又は時間を要し、他の業務に支障を来すおそれのあるときは、調査を行わない。

(相互利用)

第18条 利用者(第6条第4号から第6号の利用者を除く。次項において「相互利用者」という。)は、教育又は調査研究のため必要があるときは、附属図書館を通じて、他の図書館等が所蔵する資料の閲覧、文献複写、借受けその他の利用(以下「相互利用」という。)の依頼について、所定の申込書により館長に申し込むことができる。

2 前項に必要な経費は、相互利用者が負担するものとする。

3 他の図書館等から本学が所蔵する資料の相互利用について依頼があったときは、本学における教育研究に支障がない範囲内でこれに応じるものとする。

(写真撮影)

第19条 利用者が学術研究又は文化の向上を図るために、資料の写真撮影を希望するときは、館長の許可を得なければならない。

(館内規律の遵守)

第20条 利用者は、附属図書館の利用に関する規律を遵守し、係員の指示に従わなければならない。

ない。

2 館長は、この規程等に違反した者又は係員の指示に従わなかった者に対し、附属図書館の利用を停止又は禁止することができる。

(弁償責任)

第21条 利用者は、資料を汚損、破損若しくは紛失したとき又は機器その他の設備を毀損したときは、直ちに館長に届け出るとともに、その損害を弁償しなければならない。

(雑則)

第22条 資料を利用者の閲覧に供するため、資料の目録及びこの規程を常時閲覧室内に備え付けるものとする。

第23条 この規程に定めるもののほか、附属図書館の利用に関し必要な事項は、館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年10月15日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年9月16日から施行する。

国立大学法人お茶の水女子大学附属図書館図書選定委員会内規

(平成19年6月21日 附属図書館運営委員会承認)

第1条 この内規は、国立大学法人お茶の水女子大学附属図書館運営委員会規程第8条の規定に基づき、国立大学法人お茶の水女子大学附属図書館図書選定委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

第2条 委員会は、附属図書館が購入するお茶の水女子大学学生の学習若しくは研究のため又は教養の向上を図るために必要な学生用図書の選定及び収集を行うことを目的とする。

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもつて組織する。

- 一 附属図書館長
- 二 附属図書館運営委員会が推薦する大学院人間文化創成科学研究科に所属する教員 若干人
- 三 図書・情報チームリーダー

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 前項の委員に欠員が生じた場合、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第5条 委員会に、委員長を置き、附属図書館長をもつて充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

第6条 委員会は、審査結果について附属図書館運営委員会に報告する。

附 則

この内規は、平成15年1月31日から施行する。

附 則

この内規は、平成19年4月1日から施行する。

お茶の水女子大学附属図書館 資料収集方針

(平成23年6月8日 附属図書館運営委員会承認)

○基本的姿勢

図書館の利用者が各分野にわたり基本的知識や概要を修得できるような資料を幅広く収集する。その際の基本的な指針を以下のように定める。

○原則として収集対象とするもの

- ・ 学生向けの基本的、教養的な図書・雑誌
- ・ 本学の教育・研究分野に関わる学術図書
- ・ DVD、CD-ROM等の視聴覚資料・電子図書・電子ジャーナル

○原則として収集対象外とするもの

- ・ 各種資格試験等の参考書・問題集
- ・ 趣味、娯楽、実用書やマニュアル書
- ・ 既に図書館に所蔵されている資料